

“ EV充電エネチェンジ
定額プランのご紹介 ”



ENECHARGE

エネルギーの未来をつくる

CHANGING ENERGY FOR A BETTER WORLD

会社名	ENECHARGE株式会社
代表	代表取締役CEO 城口 洋平
本社	東京都中央区京橋三丁目1番1号 東京スクエアガーデン 14階
関連会社	ENECHARGE EVラボ株式会社 ENECHARGE Innovation Limited(英国、ロンドン)

設立

2015年

東証上場

2020年

グループ社員

285名

EV充電事業



EV充電サービス



EV充電
導入台数
No.1

EV充電
アプリ
利用者数
No.1

プラットフォーム事業



電力ガス会社切替サービス



電気代
見直し
サイト
No.1

データ事業



電力会社向けシステム開発



取引先
エネルギー
会社数
61

EV 充電
導入台数・
アプリ利用者数

No.1

EVユーザーにとって
最も利便性の高いサービスです!



数多くの企業様と提携、導入いただいています

※一部抜粋

ROUTE INN HOTELS

星野リゾート

ハウステンボス

横浜市
City of Yokohama

PREMIUM OUTLETS
MITSUBISHI ESTATE SIMON

屋島牙籠グループ

AOKI
MEN'S LADIES

東京海上日動

大東建託

HEIWA DO AL PLAZA フランマート

GDO

Y&M ユーミーマンション

TQKUTO
Create New Values

阪急阪神不動産

Hotel Mikazuki
JAPANESE RESORTS & SPA

東急建設

吹田市
SUITA CITY

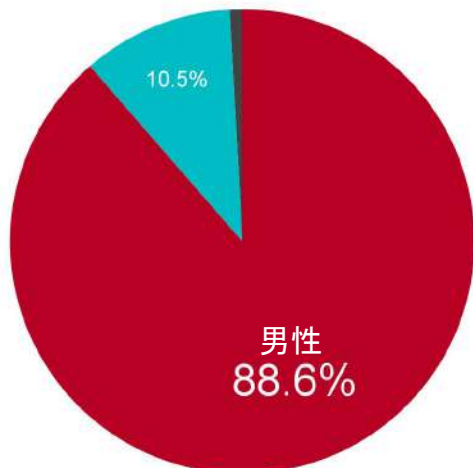
名鉄協商パーキング

EVとEV充電インフラの現状と課題



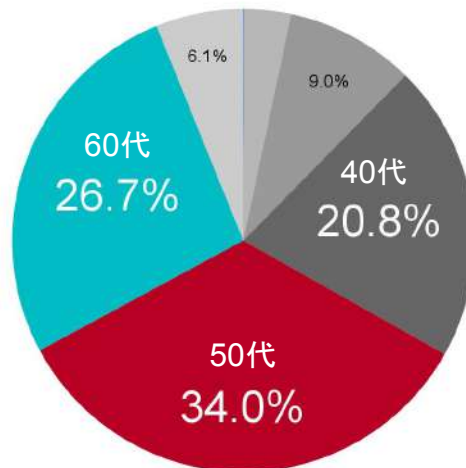
2024年3月、エネチェンジは日本国内のEVおよびEV充電インフラの状況把握とユーザのニーズに応えるため、EV・PHEV利用者を対象にしたアンケートを実施、2,833名の回答を得ることができました。

性別



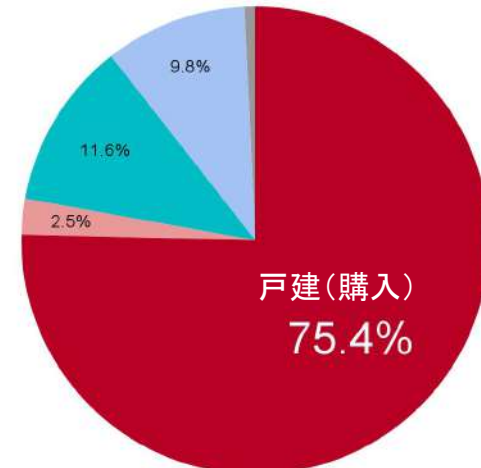
● 男性 ● 女性 ● 答えない

年代



● 10代 ● 20代 ● 30代 ● 40代 ● 50代 ● 60代 ● 70代以上

住まい



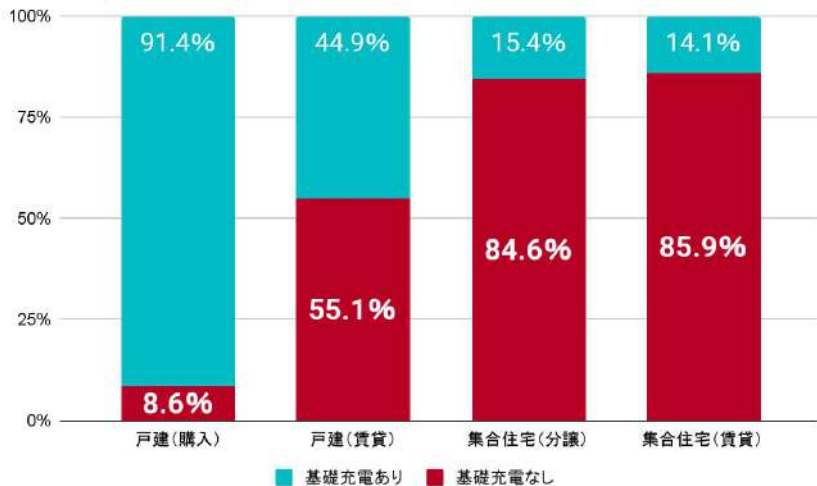
● 戸建(購入) ● 戸建(賃貸) ● 集合住宅(分譲) ● 集合住宅(賃貸) ● その他

■実施概要

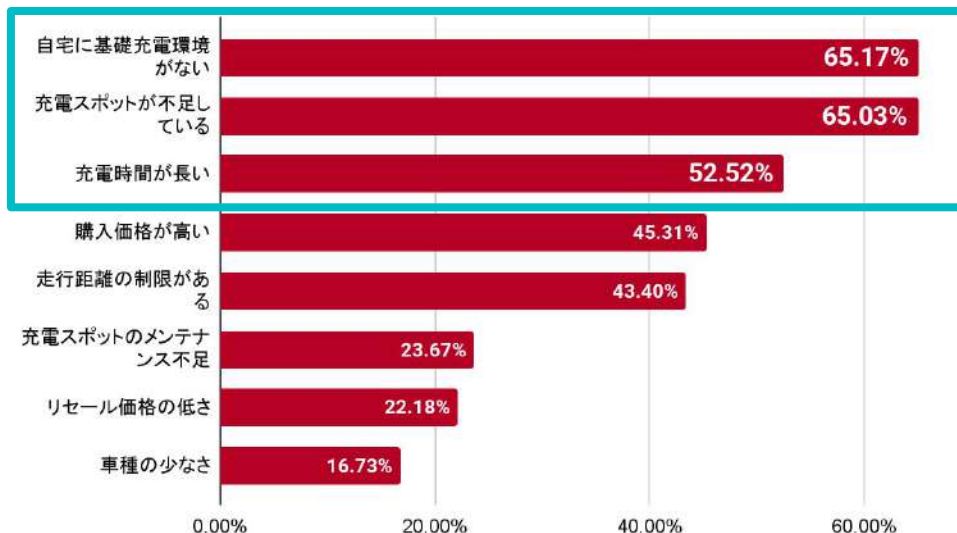
調査方法: インターネット
調査実施期間: 2024年3月5日~2024年3月20日
有効回答数...2,833

EV・PHEV所有者の75.4%が「戸建(購入)」に住み、「基礎充電なし」がわずか 8.6%であるのに対し、**集合住宅(分譲・賃貸)では「基礎充電がない」という回答は 85%となりました。**
不満な点の上位 3位はいずれも充電環境に関する不満 でした。

[住まい別]基礎充電の有無



基礎充電がない所有者が挙げる不満な点



「基礎充電なし」と回答した割合の高さと、「集合住宅に住む世帯」が多い都道府県は一致をし、都市部における集合住宅における充電インフラ環境整備の遅れが浮き彫りとなりました。

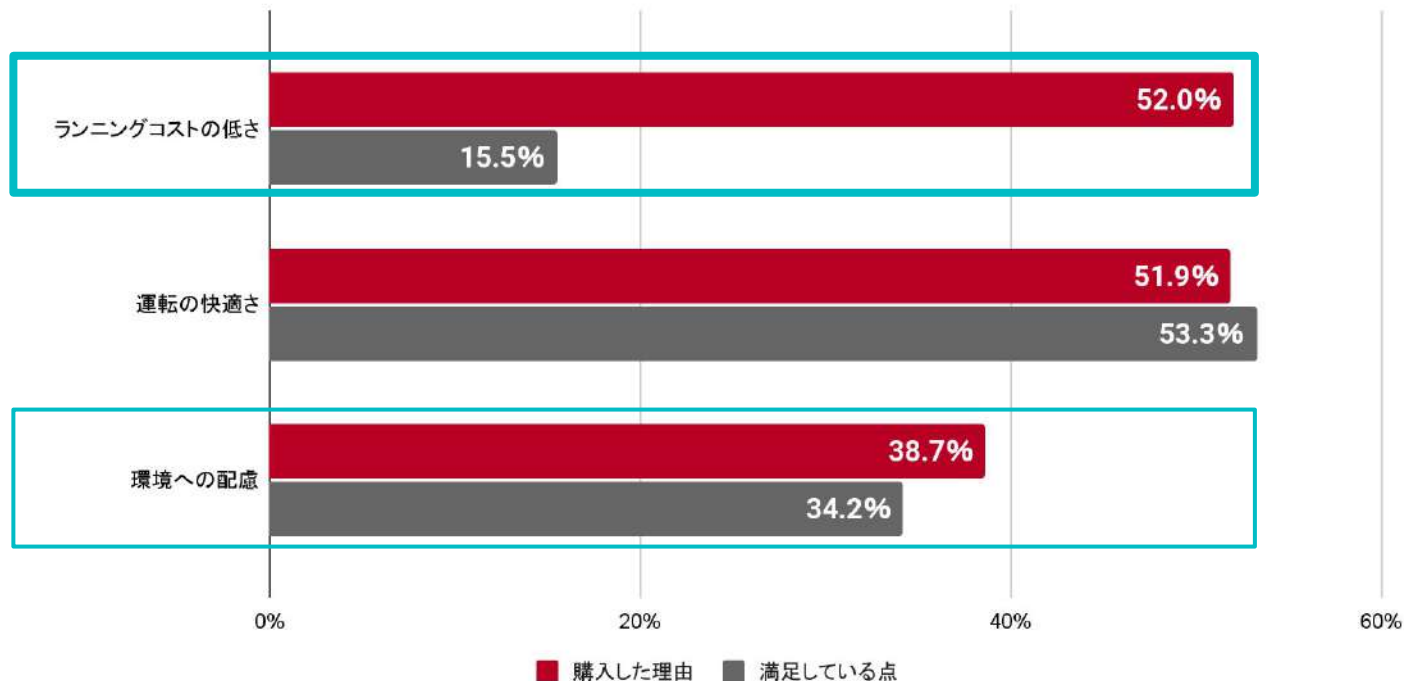
[都道府県別] 基礎充電なしの割合と集合住宅の世帯の割合



出展：
令和5年住宅・土地統計調査/住宅数概数集計(2023年10月)
・調査都道府県別・共同住宅の割合(全国順位)

基礎充電がないEV・PHEV所有者は購入後の「ランニングコストの低さ」の満足度が著しく低下し、「環境への配慮」については実感が乏しいことがわかりました。

[基礎充電なし]購入した理由と購入後の満足している点



集合住宅に住む 85.2%は基礎充電がなく、
「充電スポットの不足」や「コストメリット」「環境への配慮」を感じづらい などの
基礎充電の現状と3つの課題が明らかとなりました。

①基礎充電がなく
充電スポットが不足している



②購入後に
コストメリットを感じづらい



③購入後に
環境への配慮を感じづらい

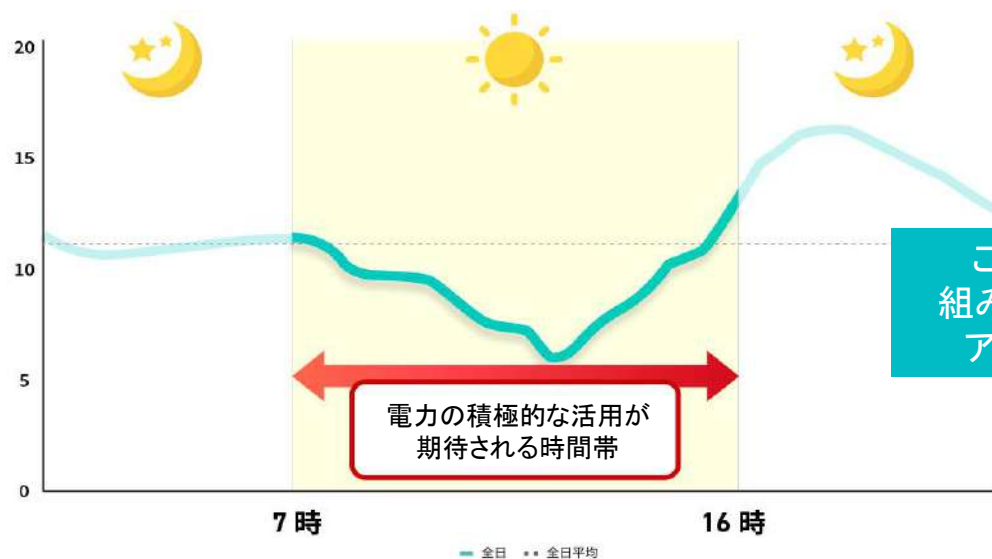


**「エネルギーの未来をつくる」ために
EV充電エネチェンジが取り組むこと**



日中の電力の活用を促す取り組みとして、動く蓄電池である EVの活用が高まっています。
エネルギーテックのエネチェンジだからこそできる新しい仕組みを考えました。

日中の電力の活用



この2つを
組み合わせた
アプローチ

動く蓄電池であるEVへの充電



日中の電力活用とEV充電が融合した未来



晴れた日にEVを充電する。
ついでに買い物に行ったり公園を散歩する。

EVに乗ってるだけじゃグリーンじゃない。
EVで使う電気もグリーンじゃないと。

そんな「グリーンな未来」は、2024年6月3日にやってきます。
世界で初めて、日本から始まります。

**世界初！日中時間帯の
「デマンドレスポンス型」EV充電定額プラン
提供開始！**

デマンドレスポンスとEV充電を融合することで、
エネルギーの効率的な活用を推進します。

※世界初... ENECHANGEによる、米・豪・欧州のEV先進国の24社のEV充電定額サービスを調査。日中の時間帯の電力を活用するデマンドレスポンス型EV充電定額サービス

※デマンドレスポンス型... 電力の供給に合わせて、需要側が電力の利活用を工夫する仕組み

※グリーン... 利用者が環境に配慮されたエネルギーに対して抱くイメージとして表記。実際に供給される電力は個別の電力契約に依存するため、この限りではありません。

太陽の恵みをフル活用！ 日常も旅先も、おトクに充電◎ EV充電定額プラン「エネチェンジパスポート」

太陽の恵みをフル活用！
日常も旅先も、おトクに充電！

EV 充電 エネチェンジ ENECHANGE 定額プラン 新登場！

エネチェンジパスポート

月額 **2,980円** (税込)
(30日間)

(利用可能時間：7時～16時)



毎日7時から16時まで
エネチェンジの充電器が
全国で充電放題 月額**2,980円**(税込)

2024年6月3日(月)正午
提供開始！

※一部対象外のスポットがあり、事前にアプリやサイトで確認ができます
※利用開始から30日ごとの支払いとなります
※走行利用を目的とした充電にご利用ください

基礎充電がないEV・PHEV所有者が抱える3つの課題を EV充電定額プラン「エネチェンジパスポート」が解消！



課題①基礎充電がなく
充電スポットが不足している



基礎充電代替として
全国でEV充電できる！

課題②購入後に
コストメリットを感じづらい



割安な料金設計で
おトクに充電ができる！

課題③購入後に
環境への配慮を感じづらい



日中の電力をEV充電することで
環境への配慮を実感！

“ 稼働実績向上のための
コーン設置について ”



- 2024年4月22日の「第7回 充電インフラ整備促進に関する検討会」で、公共用充電器については、各事業者の場所ごとの設置数や稼働実績について定期的に各社のHP等で公表するなどの措置をとっていくべきという議論がされました。
- 基礎充電器においても、補助金を利用して設置をおこなったものについては段階を経て稼働実績の公表が行われる流れになると考えています。

充電器の設置や稼働率の把握について

- 利便性が高く持続可能な充電インフラ社会の構築を目指す上では、充電器の設置場所に関する状況や稼働率などの情報を把握・公表しながら、官民の取組を進めていくことが重要。
- 現在、公共用充電器の数及び場所については民間の地図事業者の情報が公表されているが、例えば、出力に関する情報や、集合住宅における情報は含まれていない。また、稼働率については公表しているのは一部の充電事業者にとどまっている。
- 今後、官民の取組をより高度化していく観点から、補助金を活用して設置する充電器については、集合住宅を含めた各事業者の場所ごとの設置数や、稼働率について、定期的に各社のHP等で公表するなどの措置をとっていくべきではないか。

設置状況の公表イメージ

設置場所	普通充電器		急速充電器				総充電時間(分)	総充電電力量(kWh)	1口当たりの月平均利用回数	1口当たりの充電時間(分)	1口当たりの充電電力量(kWh)
	口数	口数	出力ごと(kW) ※1口あたり最大出力								
			~50未満	50~90未満	90~150未満	150~					
公共用	自動車ディーラー										
	コンビニ										
	高速道路										
	道の駅										
	商業施設										
...											
基礎	集合住宅										
	月極駐車場										
	合計										

<検討の視点>
 ・把握・公表の頻度
 ・設置場所の把握や区分
 ・出力に関する区分等

何故稼働実績向上の必要があるのか

- 充電事業の自立化・高度化の観点から、いずれ政府による補助金は打ち切られる前提において各社がサービスの高度化を通じて充電収益増加に努め、事業の自立化を図っていく必要がある。
- 現状、充電器の法定耐用年数が最大8年であり、稼働実績の低位性が続いた場合、設置後8年を迎えるタイミングで放置や廃棄されることになり、社会全体のコスト増加につながる。

充電インフラ整備に向けた原則

- 以下の3つの原則を総合的に勘案しながら、利便性が高く持続可能な充電インフラ社会の構築を目指していく。

充電インフラ整備における原則



ユーザーの利便性の向上

車両の性能や使い方を考慮しながら、ユーザーの利便性を向上する。このため、高出力化、設置目安の具体化等を図る。

充電事業の自立化・高度化

充電事業の自立化・高度化を図る。このため、コストを低減するとともに、サービスの高度化を図る。

社会全体の負担の低減

充電インフラの整備や運用に伴う公的負担や電力システムへの負担を低減していく。このため、公共性を考慮しながら、効果的、効率的な整備を進める。



出典：経済産業省 充電インフラ整備促進に向けた指針 2023年10月18日

- 稼働実績向上阻害の一因として、EV充電区画へのガソリン車の停泊による充電阻害が挙げられる。
- 弊社では、こうした充電阻害を未然に防ぎ、常にユーザーが利用可能な状態を維持するべく公共用充電器においては全ての充電区画にコーンを設置

EV充電区画にEV以外が停まっている例



※写真: EVsmart ロコミより

「EV充電エネチェンジ」アプリへのコメント

残念ながら、ガソリン車が停まっていて充電できませんでした

いつも普通車が止まっているので充電出来ません。コーンの設置をお願いしたい。

EV優先車室及びコーン設置されている例



「EV充電エネチェンジ」アプリへのコメント

カラーコーンで「EV専用」と塞いでくれてあるので助かります。

2機あり、コーンが設置されていますのでアプリの空き数通りでした。